



くれよん

2007年7月17日 第42号
NPO 法人町田市学童保育クラブの会
所在地 町田市忠生 3-12-11
電話 042-791-2556
広報委員会 発行

退任のごあいさつに代えて 「もう一つの最後の使命」 谷田川 和夫



自由と平和、民主主義が街にあふれている時代でした。1949年、私は戦争で殺されることもなく、新卒の教師として小学生の前に立つことができました。中学4年(当時)以降、超特急で押し出され21歳でした。教師になって悔いた日は一日もありませんでした。高ヶ坂小で最後の子どもたちと別れる日、子どもたちは言うてくれました。「生まれ変わっても、また先生になって僕たちを担当して」。

定年退職後大学への就職が決まり、そこで14年。そこを去る日、学生のひとりが「ヤタちゃんは、小学生とわたしたちとどっちが好き？」と尋ね、私を困らせました。

先生と呼ばれる最後の生活を<学童保育>で送りました。このまま人生を終えたいとの思いは日々強まりました。私の教師体験を聞いてくれる学童の先生(指導員)と話していると、ここを離れ難い気持ちも強まります。

しかし、気がついてみると、今私の元に集まってくださるもと兵士とその支援者は100名を超えています。この方たちの不戦の意志を広めて武力のない平和な社会を築くことが、今私の目の前の子どもたちにとって緊急不可欠の使命だと思っています。ご支援ください。

就任のごあいさつ 三階 広明

このたび、谷田川前理事長の後任として理事長に就任いたしました。

谷田川前理事長には、私たちの法人設立にあたって、お忙しいなか理事長をお引き受けいただき、これまで様々な場面でお力を発揮していただきました。最近では、「保育指針」の検討に際して大変貴重なご意見をいただき、「学童保育所保育指針」の内容がより豊かなものになったと思っています。

誰もが、あと何期かは理事長としてご活躍いただけると考えていたと思います。今期での退任は非常に残念ですが、谷田川前理事長の「どんな時にも子どもたちの心に寄り添う熱い思い」を、法人にかかわる多くの人たちと共に引き継いでいきたいと思っています。



さて、「学童保育」をめぐる状況はこの数年で大きく変化してきました。「全児童対策」といわれる事業の展開の中で、「学童保育」事業を転換する自治体が増えています。

さらに、「指定管理者制度」の導入によりこれまでの「運営形態」のままでは「学童保育」が継続できないという状況もうまれてきています。

保護者の皆さんの力で守り、発展させてきた「委託学童」については、「法人化」したことにより当面の対応はできていますが、この制度は、基本的に「競争原理の導入による経営効率化」を目指すものであり、法人による継続的な学童保育事業の運営を保障するものではありません。福祉分野における「制度」導入の問題性を含めた検討を行い、行政への「制度改善」の働きかけを進めることが、今後も私たちが継続的に「学童保育」を担っていく上で必要なことと考えています。

また、現在の子どもたちをめぐる様々な状況は、「学童保育」だけでは解決することができない課題が多くなってきています。「地域の中で子どもたち一人ひとりの発達と成長を保障していく」という私たちの理念実現のためにも、「学童保育を地域における拠点」としながら、「新たな事業展開」を検討していく時期になったとも考えています。

法人運営の面では、「たけの子クラブ」の移転問題、「どろん子クラブ」の指定管理者再選定、「新規開設クラブ」対応等、今年度も様々な課題が山積しています。

法人が運営する「学童保育クラブ」を利用している全ての保護者の皆さんの力をお借りしながら、また、「学童保育」を地域で支えていただいている多くの方々のお力も借りて、法人設立の目的でもある「町田の学童保育」充実のために努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

第5回 定期総会 報告

6月24日（日）、午後2時より町田市民文学館ことばらんの大会議室にて、第5回定期総会を開催しました。

総会には正会員の方をはじめ、各保護者会役員の方等、60名の方が出席してくださいました。

来賓としてお招きした方は、残念ながらご都合がつかず、欠席となりましたが、団体名のみ、ご紹介いたします。

「町田市学童保育を考える会」「NPO法人子育て・子育て支援タグポート」「町田市学童保育クラブ父母会連絡協議会」です。



<報告を行う三階事務局長>

総会プログラム

1. 開会の挨拶
2. 来賓紹介
3. 審議事項
 - ① 2006年度事業報告および決算
 - ② 2007年度事業計画および予算
 - ③ 役員を選任
 - ④ 評議員を選任
 - その他
4. 報告事項
5. 閉会の挨拶

審議事項は、06年度事業報告および決算、07年度事業計画書および予算、役員を選任、評議員の選任です。

役員については、当日追加案として、なかよしクラブの守屋理事を再任することを提案しました。

審議はスムーズに進み、全ての提案が承認されました。

役員は6月30日で2年間の任期満了となるため、第4期役員選出となりました。

今期限りで退任される理事は、谷田川理事長、遠藤理事（おおくら）、小島理事（どろんこ）、井出理事（そよかぜ）、本理事（あおぞら）、内川理事（わんぱく）、平野理事（なかよし）、金田理事（たけのこ）、高山監事（おおくら）です。

谷田川理事長は、法人設立より、理事長として尽力をつくしてくださったこともあり、今後名誉理事長として法人と関わりをもっていただく予定であることが、報告されました。



総会の審議終了後、退任される役員の方へ、職員より花束の贈呈がありました。

また、谷田川理事長へは、職員が書いたメッセージが渡されました。

みなさんにひと言ずつ、退任の挨拶を述べていただきました。

<審議の賛否を表明する会員>



<退任される役員の方々>



6月から、学童保育クラブ子育て支援事業〈ぷちくれよんひろば〉がスタートしました。

この事業は調査研究委員会のひとつ地域貢献グループを中心に『地域に開かれた学童保育クラブを目指す』ことに焦点をあてた地域貢献のための事業です。(詳しくはくれよん 40 号をお読みください。)

今年度は、午前中の保育室を月 1 回開放し就学前のお子さんと保護者の皆さんの憩いの場を提供します。毎月、7 クラブの指導員が分担し、楽しいプログラムをご用意しています。今回はリズム体操を取り入れたプログラムでした。その様子をレポートします。

〈ぷちくれよんひろば 今後の予定〉 開放時間 10 時～12 時45分 (11 時～ プログラム)

テーマ	おりがみ	月見だんご	ミニ運動会	秋を楽しもう	シングルヘル集会	お正月あそび	クッキー作り
第2なかよしクラブ	終	9月 6日	10月 4日	11月 1日	12月 6日	1月10日	2月 7日
どろん子クラブ	7月19日	9月20日	10月18日	11月15日	12月20日	1月17日	2月21日

ぷちくれよんひろば

第2 なかよしクラブ (毎月第1 木曜日開催)

6月9日

第 1 回目となった今回の『ぷちくれよんひろば』。「きてくれるかなあ」とドキドキしながら待っていると、「おはようございま～す!!」と、来てくださったのは、小さいお子さんを連れた 3 組の親子でした。3 人とも初めての環境に目をキラキラさせて歩き回ります。その中で 1 番人気だったのがボールプール！中に入るのではなく、お気に入りのボールを見つけてポンと投げるあそびに夢中になっていました。普段小学生を保育している指導員には小さなお客様が新鮮で戸惑いもありま



したが、全員 1 歳児だったということもあり、初めて会ったお母さん方もお互いの子どもを通じての会話が弾んでいました。学校の休み時間には小さな仲間をひと目見ようと、学童の子どもたちがたくさん集まり交流を深める場面もありました。「私たちが帰ってくるまでいてほしいな。」「一緒にあそびたい。」と、お姉さん、お兄さんの表情になりました。

11 時からは、担当指導員によるリズムあそびが始まりました。みんなで円になり、“大きな栗の木の下で” を歌って挨拶をしました。お母さん方が手を取り、みんなで一緒に歌う姿はとてもほのぼのとしていました。



座ってできるリズムあそび、立ち上がったのダイナミックな動きとバリエーション豊富に動き回ります。しかし…そこは 1 歳児、自分の興味があるものを見つけると、チョコチョコと歩いて行ってしまいお母さん方は大あわて！指導員大あせり…そこがまた笑顔につながっていきました。身体を動かした後は、手あそびや読み聞かせでゆったりと過ごしました。最後は“げんこつ山のたぬきさん” をみんなで歌って 30 分のプログラムが終了しました。



小さな仲間と、小さな円になって始まった『ぷちくれよんひろば』。ゆったり、のんびり過ごしながら、子どもも大人も笑顔がたくさんあふれました。

(第2 なかよしクラブ指導員 宮繁)

どろん子クラブ

(毎月第3木曜日開催)



6月21日

この日は汗ばむくらいの良い天気。指導員はドキドキワクワクお出迎えです。10時にはベビーカーをひいた3組のお友だち同士のお母さん方がさっそく来てくださいました。

「こんにちは。」と指導員が声をかけましたが、「・・・」初めての場所で戸惑っている子どもたち。しかし次の瞬間、お部屋にあるボールプールを見つけてお母さんの手を引っ張り一目散。興味を持ったようです。

その後、8組の親子が参加となりました。下は10ヶ月から上は3歳6ヶ月まで。幅広い年齢のなかボールプールやおもちゃ・絵本のコーナーはにぎやかでした。



11時。リズム遊びの時間です。指導員が片付けの声かけをするとお母さんと一緒にじゅうたんに全員が集まりました。「何がはじまるのかなあ？」キョトンとお座りをしている子どもたちに、はじめの挨拶で指導員が歌いながら一人ひとりに自己紹介をしました。挨拶のあとは、手あそびやピアノの音に合わせてながら模倣あそびです。ちょうちょになったりカエルになったり、電車になったり…。年齢によってできる活動はさまざまでしたが、音のテンポや音色に合わせてお母さんと一緒に身体を動かしました。音楽に合わせて踊った“大きな栗の木の下で”では、1歳9ヶ月になる女の子がみんなの注目を浴びるほど力いっぱいにお遊戯をしていたのがとても印象的でした。

最後は全員で輪になり手をつないで歌をうたって締めくくり。プログラムが終わったあともほとんどの親子がひとしきり遊具や会話を楽しんで、どろん子クラブをあとにしていきました。帰り際に「また来るね。」の親子のことばが聞けて指導員一同とても幸せな気持ちで終えることができました。

手探り状態で始まった準備では、どのくらいの年齢のお友だちに何人ぐらい来てもらえるのか、不安ばかりを抱いていましたが、いざ活動を終えてみるとホッとひと息。利用者全員の笑顔にたくさん助けられました。お母さん方に話を伺ってみると、「南地区でやっている開放にたびたび参加しているけど、どろん子クラブで開放があると近くて行きやすい。」という声が多く寄せられました。

さて、次回は何組の親子が『ぶちくれよんひろば』に足を運んでくれるでしょうか。楽しみです。

(どろん子クラブ指導員 兼子)

今後の予定

- | | | | |
|------------------|---|-----------|-------------|
| 7月20日(金) 19時30分～ | : | 保護者会との懇談会 | (公民館) |
| 8月 1日(水) 20時00分～ | : | 広報委員会 | (公民館) |
| 8月 3日(金) 19時30分～ | : | 事務局会議 | (公民館) |
| 8月10日(金) 19時30分～ | : | 調査研究委員会 | (公民館) |
| 8月24日(金) 19時30分～ | : | 運営委員会 | (市民フォーラム) |
| 8月26日(日) 14時00分～ | : | 第1回人事委員会 | (文学館ことばらんど) |

編集後記

総会を終え気持ちも新たにスタートです。(竹村 たけの子指導員)
子どもたちの笑顔がエネルギーですね。(杉田 たけの子保護者)

『くれよん』は保護者と指導員で構成された広報委員会が毎月発行しています。バックナンバーの一部はホームページでご覧いただけます。